

建築基準法第43条第1項ただし書許可申請の手続きについて

(1) 43条1項ただし書許可申請

- ・申請書の正本（市用）、副本（申請者用）に、それぞれ、別表の必要図書を添えて市都市整備課に提出してください。
- ・申請手数料は、33,000円です。
- ・申請及び許可の対象は、原則として建築行為がある棟のみであり、同一敷地内の他の既存建築物は対象外です。
- ・許可にあたり、消防長の同意を必要とし、また、新見市建築審査会の同意を必要とします。

(2) 事前相談

- ・正式な許可を申請する前に、建築計画が許可になる見込があるか否かを事前相談する場合は、「建築基準法第43条第1項ただし書調書」（様式1）1部に、別表の必要な書類を添えて、市都市整備課に相談してください。

別表

図書の種類	明 示 す べ き 事 項 等
付近見取図 (都市計画図)	[縮尺1/2, 500] 方位、道路及び目標となる地物、申請区域境界(朱書き)
配置図	[縮尺1/200程度] 縮尺、方位、申請区域の境界線、敷地境界線、敷地内の建築物の用途、延べ面積、位置及び構造並びに出入り口の位置、擁壁の位置、土地の高低、建築物の各部分の高さ、敷地の周囲の通路その他の空地の配置(主要な箇所の幅員及び延長距離、排水施設等)並びに敷地に接する道路の位置及び幅員、延焼ライン、敷地内既存建築物の建築年代若しくは建築確認経過等。 計画区域外の、道に立ち並ぶ既存建築物の判断を要する場合にあっては、立ち並んでいる既存建築物の建築年代若しくは建築確認経過等も表示のこと。空地全体が入りきらない場合は、縮尺1/500程度の配置図を別途作成の上添付のこと。公図の写し上に記載することも可。
公図の写し	[法務局備え付けの写し] 申請区域境界(朱書き)、通路等の判断対象空地に係る赤線等の公共部分(茶色着色表示)・民地部分(黄色着色表示)・河川等(水色着色)。
各階平面図	縮尺、方位、間取り、各室の用途、開口部及び防火戸の位置並びに延焼のおそれのある部分の外壁の構造。
二面以上の立面図	縮尺、開口部の位置並びに延焼のおそれのある部分の外壁及び軒裏の構造。
二面以上の断面図	縮尺、床の高さ、各階の天井の高さ、軒及びひさしの出並びに軒及び建築物の高さ、延焼のおそれのある部分の外壁及び軒裏の構造。
その他	申請の内容に応じて添付を求める書類 ・既存建築物の確認済証の写し ・計画敷地及び空地の土地・建物の登記事項証明書 ・道に立ち並ぶ他の建物・敷地の土地の登記事項証明書

事前相談の場合は、調書に ~ 及び の必要な書類を必ず添付すること。

課長	課長補佐	主幹	主任		担当	
建築基準法第43条第1項ただし書調書						
平成 年 月 日						
建築主	住所				住所	
	氏名				氏名	
	連絡先 電話()				連絡先 電話()	
敷地の概要	地名地番	新見市			敷地面積	. m ²
	用途地域	1低専 2低専 1中高 2中高 1住居 2住居 準住居 近商 商業 準工 工業 工専 指定なし (建ぺい/容積: /)				
	防火など	準防火 自然公園 河川保全 都計法 条 景観条例 広告物条例 県土保全条例 市開発条例 その他()				
	都市計画区域編入年月日	年 月 日				
計画建物概要	用途		階数	地上 階・地下 階	棟数	棟
	建築面積	, . m ²		最高高さ		
	延べ面積	, . m ²		軒の高さ		
	工事種別	新築・改築・増築・()		便所	汲取・下水(供用開始:)	
	構造	W・S・RC・SRC ()		浄化槽	単独・合併()人槽	
	耐火建築物 ・ 準耐火建築物 ・ その他[外壁及び軒裏(延焼のおそれのある部分)の構造]					
既存建物概要	用途		階数	地上 階・地下 階	棟数	棟
	建築面積	, . m ²		最高高さ		
	延べ面積	, . m ²		軒の高さ		
	構造	W・S・RC・SRC ()		確認経過	年 月 日 号	
接道義務判断の対象道路等	敷地が接する道、通路などの空地(直接・間接)	・市町村道・農道・林道・私道 ・河川管理道・公衆用道路 ・その他()			公園上の幅員 . M 有効幅員 . M	
		管理者との協議状況			敷地が接する長さ . M	
	間に挟む水路等	・水路、河川 幅員 . M ・里道 幅員 . M ・その他() 幅員 . M			合計幅員 . M 橋等の幅員 . M	
	管理者との協議状況					

記入要領

1. 代理人欄は協議手続きを委任する場合のみ記入してください。
2. 既存建物概要欄は、計画敷地内に既存建物がある場合のみ記入してください。
3. 欄は記入しないでください。
4. 別表の図書を添付してください。